3．交換部品

保守などでランプを交換する場合には、下記の形式のものをお求めください。

ラピッドスタート蛍光ランプ　：40W用（FLR40S･FLR40S/36）

（ご注意：他のランプは防爆性能を維持できませんので使用できません。）

4．使用上の注意

1．お客様による器具の修理は行わないでください。
2．器具の改造は絶対に行わないでください。
3．ご使用中に異常が生じた時はただちに電源を切り、工事店または最寄りの弊社営業所にご連絡ください。
（この時、器具形式を銘板にて確認し、ご連絡いただきますと処置が素早く行えます。
4．万が一、シリンダーが破損した場合は、事故の元になりますので絶対に使用しないでください。

工事店様へ

工事が終わりましたら、この取扱説明書の下側にある施工記録表に必要事項を記入の上、使用されるお客様にお渡しくださるようお願いいたします。

お客様へ

保守の際は、下表の内容をご確認の上、安全のため保守作業はできるだけ工事店にご依頼ください。

施工記録表

工事名		器具形式	
工事店名		使用ランプ	
電話番号		電源	
取付年月		ブレーカーNo	
取付台数			

岩崎電気株式会社

連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247 神奈川県鎌倉市大船5-1-1　☎(0467)41-2728

TS-1080

E766Z399H20

安全増防爆形蛍光灯器具取扱説明書　保存用

FWE492･FWE491

このたびは、安全増防爆形蛍光灯器具をご採用いただきましてまことにありがとうございます。
この器具の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って有資格者がおこなってください。

工事後、この説明書は必ず使用者様にお渡しください。
ご使用になる前に必ずこの説明書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、両面ともお読みになった後、大切に保存し、必要な時にお役立てください。

施工者様及び使用者様への安全上のご注意

警告

- この器具は二種危険場所用です。使用環境を確認の上、ご使用ください。他の危険場所で使用されますと、爆発事故や火災の原因となることがあります。危険場所の確認は器具を設置する建物・場所等の所轄の消防署に確認を取ってください。
- この器具は下記の環境、条件では使用しないでください。火災、感電、落下の原因になります。
  - ・周囲温度が40°C以上の所
  - ・振動・衝撃の激しい所
  - ・腐食性ガスの生じる所
- 器具の改造、部品の変更は絶対に行わないでください。感電したり、防爆性能が維持できなくなり、火災や爆発事故の原因となるため禁止されています。
- ランプは本体の銘板及び取扱説明書により、適合するものを使用してください。器具の性能上防爆性能がみたされず使用できません。
- ランプ交換や保守点検の際は、必ず電源を切ってください。設置されている場所の環境状態によっては火災や爆発事故の原因になったり、感電の原因となります。
- 煙、臭いなど異常を感じたらすぐ電源を切ってください。火災、感電の原因となります。異常を発見しましたら施工業者又は最寄りの当社営業所まで至急ご連絡ください。

注意

- 点灯中　消灯直後のランプや器具には高温になる場所がありますのでさわらないでください。火傷の原因となります。
- 安全に使用するため、定期的に清掃、点検をしてください。特に5年以上経過した器具は劣化を含めて入念に点検してください。
- 器具の清掃はぬるま湯か、石鹸水に浸した布を良く絞り拭いてください。シンナー、ベンジン等は変質や火災の原因となります。

注意

- 蛍光ランプ、シリンダーはガラス製品です。器具取り付けやメンテナンスの時、衝撃をあたえますと破損する事があります。破片で怪我をしないようご注意ください。

施工者様への安全上のご注意

警告

- 施工は取扱説明書に従って正しく行ってください。感電、火災、落下の原因となります。
- 電源接続は取扱説明書に従って確実に接続してください。接続が完全でないと、接触不良により感電、焼損の原因となります。
- アース工事は電気設備技術基準に従い確実に行ってください。不完全なアース工事は感電の原因となります。
- 電源電圧・周波数が器具の定格電圧・周波数と一致している事を確認してください。誤った電圧・周波数で使用すると故障したり火災の原因となる事があります。

図記号の意味は下記のとおりです。

- 警告　誤って使用すると、使用者が重症を負う危険性があります。
- 注意　誤って使用すると、使用者が障害を受けたり物的損害の発生が想定されます。

禁止　分解禁止　接触禁止　厳守　アース線接続　電源遮断

商品についてのお問合せ

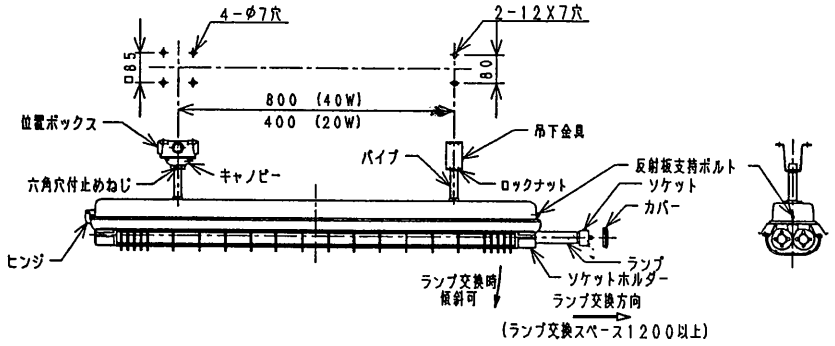
お問合せの際は、器具銘板又は施工記録表の器具形式を確認の上、施工者もしくはこの説明書の最後のページに印刷されているもよりの当社営業所までご連絡ください。

Wx灯数	本体形式(検定証形式)		入力電流(A)		定格電力(W)	防爆構造記号	適合ランプ
	100V 50Hz(60Hz)	200V 50Hz(60Hz)	100V	200V			
40Wx2	FWE492 1RUSH5(6)	FWE492 2RUSH5(6)	(0.80)	(0.40)	(78)	eG3 (屋内外用)	FLR40S FLR40S/36
	(EYFLS42315(6)-0)	(EYFLS42325(6)-0)	0.88	0.44	85		
40Wx1	FWE491 1RUH5(6)	FWE491 2RUH5(6)	(0.46)	(0.23)	(44)		
	(EYFLS41315(6)-0)	(EYFLS41325(6)-0)	0.48	0.24	47		

取付金具形式	
直付灯	パイプ吊灯
C135B (FEY12-16)	C500BP (FEY22-16)

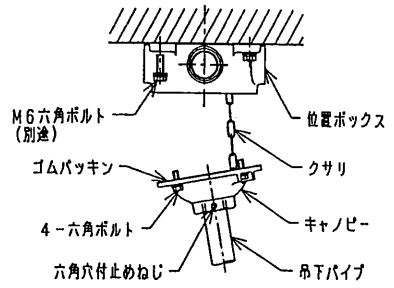
点灯方式： ラピッドスタート式
定格電圧： AC100Vまたは、AC200V
定格周波数： 50Hzまたは、60Hz
使用温度範囲： 5°C～40°C(FLR40S)
： 10°C～35°C(FLR40S/36)
防水性能： 防雨形
定格電力の( )内は省エネランプ(FLR40S/36)使用時をしめす。

1．取付け方法

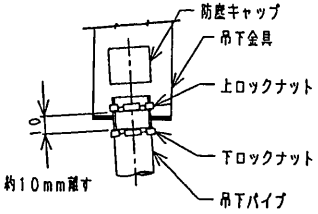


A図（直付灯・パイプ吊灯）

1．本製品は照明器具本体と吊具の2つの箱で梱包されていますのでそれぞれ箱から出してください。
2．最初に吊具の位置ボックスとキャノピーを止めている六角ボルトを緩め、取り外してください。その際にキャノピーに付いているクサリも取り外してください。（B図参照）
3．キャノピーにパイプをねじ込んでください。次にブラケット灯の場合は外したステー保持金具をパイプに通してください。



B図



C図

4．パイプに灯具本体からの電源線を通し、灯具本体背面にあるパイプ取付用ねじ穴にねじ込み、ねじが止まるまで締め込んでください。この際、電源線に損傷を与えない様ご注意ください。
5．吊下金具の上ロックナットをゆるめ、吊下金具に取付けてあるパイプを一度外して下さい。（C図）
6．反対側のパイプ取付用ねじ穴にも、外したパイプをねじ込んでください。
7．位置ボックスと吊下金具を取付面にM6の六角ボルト（鋼製）もしくはこれと同程度の強度を有するボルトを使用して固定してください。尚、湿気等が多い場所に取付る場合はステンレス製のボルトを使用する事をお奨めいたします。
8．器具を持ち上げ、位置ボックスに付いているクサリをキャノピーに取りつけてください。
9．吊下金具の穴にパイプを通し、上ロックナットをねじ込み上下ロックナットの間隔を10mm程度開き仮止めしてください。（C図）
10．位置ボックス内で器具の電源線と外部からの電源線を接続してください。接続は必ず無電圧状態で行ってください。通電したまま接続を行いますと、感電の恐れやスパークして設置場所の雰囲気等によってはガス等に引火する危険があります。接続には圧着端子を使用して確実に接続し、適切な絶縁処理を行ってください。
11．キャノピーを位置ボックスに付属の六角ボルト（4本）を使用して、しっかりと固定してください。（B図）
12．吊下金具側の上ロックナットを完全に締め付け、防塵キャップをかぶせてください。
13．器具を屋外で使用する場合は雨水の侵入防止のため電線管のねじ部等に防水処理をしてください。

2．ランプ交換方法

1．設置場所の環境状態を調べ、周囲に引火性ガス等のない事を確認してください。もし、ガス等が充満している様な場合はランプ交換を中止してください。交換作業中にスパーク等が飛びますと、火災や爆発事故の原因となります。
2．照明の電源を切り消灯してください。
3．ランプ交換用工具の爪をカバーの穴にはめて矢印の方向へ回転させ、カバーを外してください。
（回転禁止のシールが貼ってある方は開けないでください。ランプ交換がしにくいため、不点や故障の原因となります。）
4．ソケットのつまみを持ってランプを引き出してください。
5．ソケットに新しいランプをはさみ込み、ソケットホルダーの接点とソケットの接点を合わせる様にしてランプとソケットを挿入します。
6．カバーは工具を使用し、元のように取付ます。
7．ランプ交換スペースが少なく、ランプが抜けない場合、反射板支持ボルトを外す事により反射板を傾斜させランプ交換をする事ができます。ランプ交換後は反射板と本体の間に電線を挟まない様、注意して反射板を閉じてください。